

勝山市総合行政審議会（第11期第15回）結果概要

- 開催日時 平成23年8月25日（木） 午後7時～午後9時
- 開催場所 市役所本庁舎3階 第1会議室
- 出席者等 出席委員 9名
事務局 企画財政未来創造課

1. 会長あいさつ

2. 議題

（1）平成22年度勝山市政策基本目標管理外部評価について

1. 市民が参加する21世紀の夢のあるまちづくり
2. 少子、長寿化等に対応した人にやさしいまちづくり

○事務局

平成22年度勝山市政策基本目標外部評価かかる総合行政審議会の予定について説明。
資料に基づき説明。

【質疑応答】

市ホームページ・市広報の充実 内部評価3 ⇒ 外部評価3（一）

●委員

・目標が達成できなかった理由は何か。予算的な制約が原因か。

○事務局

・予算の関係で目標が達成できなかったわけではない。より良いホームページを目指すにあたって、技術的な課題解決等についての研究に時間を要したためである。

●委員

・ホームページを閲覧するのは若い世代が多いので、高齢者への対応として、紙媒体の広報紙紙面の充実に継続して取り組んでほしい。

●委員

・前年度と比較できるように市ホームページ閲覧者数を数値化するとよいのではないか。

○事務局

・第5次総合計画では数値化して目標を掲げているので、次年度から対応したい。

●委員員

・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

市長となんでも語ろう会（若者世代との語ろう会） 内部評価4 ⇒ 外部評価4（一）

●委員

・目標を全て達成しているように思うが、評価を1段階下げた理由は何か。

○事務局

・確かに目標を達成しているが、前年よりも開催回数が減ったことから評価を1段階下げている。

●委員

- ・中学校区で開催した語ろう会が、若者世代を対象としたものになったのか。

○事務局

- ・PTAを中心に参加を呼び掛け、小中学校の再編をテーマとしていたので、若い方が多く集まった。

●委員

- ・語ろう会には市職員が多く参加している。一般市民と区別して参加人数を数えてほしい。
- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

エコミュージアムの推進（若者世代参入の仕組みづくり） 内部評価4 ⇒ 外部評価4（一）

●委員

- ・「まちなかミニ博物館」の制度化とはどのようなものか。

○事務局

- ・大阪の平野区が先進地として知られているが、商店街などで小さいウインドウを使った展示をいくつも点在させ、「まちなかミニ博物館」のプレートの掲示や地図などを作成して案内したいと考えている。お庭を使った実験的な取り組みは行っているが、制度化までは至っていない。

●委員

- ・お庭の公開はいつまで実施するのか。

○事務局

- ・ゴールデンウィークや夏休み、各種イベントに合わせて定期的な公開を実施している。

●委員

- ・いつ実施しているか分かりづらい。お庭を公開している期間を明示してほしい。

○事務局

- ・普段は基本的に公開しておらず、期間を定めて公開している。公開期間が分かるように周知したい。

●委員

- ・期間限定とはいえ、お庭の公開を実施していることは、制度化と言えるのではないか。

○事務局

- ・勝山市ではまちなかミニ博物館を制度化して、これに登録していただけるかたを公募し、活用していくことを目標としているが、平成22年度はそこまで至らなかった。
- ・エコミュージアムは市民の団体が中心となって進めていくことを基本としているので、行政としてはエコミュージアム協議会の議論が熟するのを見守っている部分もあるが、エコミュージアムに取り組んで10年が経過するなかで、形として現れないのは、行政のインセンティブ不足を否定できない。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

地域間における情報通信格差の是正 内部評価4 ⇒ 外部評価4（一）

●委員

- ・地デジ化への全面移行について、一部地域で衛星放送を利用していることについては、技術的な問題であり、市としては解決できない。市としては全体的に目標を達成したといってもよい。

評価を1段階上げてよいと考える。

●委員

・地デジ対応していない公共施設はどういったところか。

○事務局

・緊急性の低いところは予算的に次年度に送っている。平成23年度に全て対応予定。

●委員

・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

これから世代への支援 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

ジオパークを活かしたまちづくり (恐竜王国推進事業・ダイノソーバレー構想)

内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

・スキージャムでのジオパーク活用について現況はどうなっているのか。

●委員

・平成23年夏休みの状況は、JRが実施しているジオパークツアーが800数十名、ホテル宿泊客の恐竜博物館等訪問者数が1,100名以上。平成22年度のJR主催ジオツアー参加者は約350名。

●委員

・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

政策評価制度の推進 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

勤務評価制度の推進 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

・目標を達成しているにもかかわらず、評価を1段階下げたのはなぜか。

○事務局

・勤務評価制度は全職員が満足することはあり得ず、常に改善をしていく必要があるため、あえて内部評価を5としなかった。

●委員

・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

柔軟な勤務時間体制の導入 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

・火曜日午後7時までの窓口延長時間内での来客数はどれくらいいるのか。

○事務局

・それほど多くない。市民への周知が不足していることもある。火曜日午後7時までという曜日や時間の設定に課題がないか検証をしていく。

●委員

・窓口延長の要望が多かったのか。少なければ延長の必要はないのではないのか。

○事務局

・市民から窓口延長を求める声を何年も前からいただいていた。

・住民票の交付などについては電話予約による対応を以前から実施していた。窓口延長については市民の声や他市の状況を鑑みて、試行として実施している。

●委員

・なぜ火曜日にしたのか。土曜日ではだめなのか、そのあたりにも検討の余地はある。

●委員

・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

窓口対応の効率化（窓口対応の向上と総合案内業務の確立） 内部評価4 ⇒ 外部評価4（一）

●委員

・来庁者に対するあいさつは達成していると思うが、評価を下げた理由は何か。

○事務局

・市民課では達成しているが、庁舎2階フロアなど他課での徹底がなされていないため。

●委員

・庁内全体で取り組まれない。

・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

市民相談業務の確立 内部評価5 ⇒ 外部評価5（一）

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

中期財政計画の見直し 内部評価5 ⇒ 外部評価5（一）

●委員

・中期財政見直しによって今後の財政状況はどうなっているのか。どのように公表しているのか。

○事務局

・決して豊かではないが、堅実であると説明している。市ホームページで公開している。

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

入札制度の改善 内部評価4 ⇒ 外部評価4（一）

●委員

・落札した業者が下請けに全て任せてしまう事例はあるのか。

○事務局

- ・制度上も下請け等への丸投げは禁止されている

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

滞納整理等の推進 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

○事務局

- ・大口滞納の公売について、今回は準備、検討のうえ、最終的に政策的な判断で公売を見送った。
- ・清大寺や門前町の活性化を図る中で、上位目標である「市民が参加する21世紀の夢のあるまちづくり」を達成することを優先した。

●委員

- ・門前町には現在、東日本大震災にかかる一時避難者が住んでいる。そういった意味でも活用はなされている。

●委員

- ・話は分かるが、目標を達成したかどうかの評価をしなければならない。目標以外の取組みによって評価が上がるのは疑問。

●委員

- ・目標の達成度合いに対しての評価であることを、今後の評価では考慮してほしい。
- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

消防組織の広域化への対応 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・取組結果の中にメリットデメリットの洗い出しが不十分とあるが、どういった意味合いか。

○事務局

- ・今回は消防広域化にむけて、勉強会の中で必要職員数の検討を行った。しかし、現実には他に多くのメリットデメリットがあるにもかかわらず、それらの洗い出しができなかった。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

消防、緊急無線のデジタル化 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

がん検診受診率の向上 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

- ・子宮がん、乳がん検診が2年に1回の受診となっているのは何か規定があるのか。
- ・2年に1回の検診であるので、前年度と比較するのではなく、2か年の平均を比較したほうがよい。

●委員

- ・乳がんに関しては、毎年の検診にあまり効果がないとの調査結果が厚生労働省から出ている。これに基づいて2年に1回となっている。

●委員

- ・すべてのがん検診を同じ尺度で目標設定するのではなく、子宮がん、乳がんについては目標の設定方法を再考してほしい。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

福井社会保険病院が奥越において果たしている機能を継続させる

内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・目標は社会保険病院でかかりつけ医を持つという意味か。

○事務局

- ・一次医療機関であるいわゆる町医者をかかりつけ医として位置づけ、社会保険病院は二次医療機関として位置づけている。

●委員

- ・かかりつけ医はどのようにして決められるのか。

○事務局

- ・病気やけがなどのときに、大きな病院へ行きがちになるが、まずは身近にある一次医療機関である町医者（かかりつけ医）に診ていただきたいと考えている。高度な医療が必要となった場合に二次医療機関である社会保険病院を紹介してもらうという体制を構築したい。

●委員

- ・かかりつけ医を持つことを推進し、啓発活動を実施しているが、その結果や効果の検証が必要。

●委員

- ・病院へ行かない健康な人にはかかりつけ医はいない。ただ、年を重ねるにつれて、病院へ行くことも増え、その結果よく行く病院がかかりつけ医になる。

●委員

- ・開業医は耳鼻咽喉科や整形外科など特定の科目に偏ることが多く、症例によっては複数の病院にかかる必要がある。かかりつけ医を持てば、そこから症例にあった病院を紹介してもらえる。

●委員

- ・開業医同士のネットワークが必要になる。

●委員

- ・情報を共有できるシステム作りが必要であることが全国的に言われている。

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

県立大学看護福祉学部と連携して高齢者の見守り組織等の体制整備

内部評価4 ⇒ 外部評価5 (ア)

●委員

- ・高齢者見守り組織を各地域に浸透させる必要がある。そのためにマニュアルを作成したが、地域への浸透は今後も課題として残る。

・完成したのはあくまで素案であって、マニュアルではないので目標を完全に達成したとはいえない。

●委員

・平成22年度に素案ができていたのであれば目標は達成したといえる。
・内部評価は4だが、外部評価を5としてよろしいか。

●委員

・異議なし

民間保育園の認定子ども園化に取り組む 内部評価2 ⇒ 外部評価2 (一)

●委員

・取組みを何もしなかったのか。

○事務局

・国の状況が非常に不安定だったことから、取り組もうにも取り組めなかった。

●委員

・勝山市の少子化の現状から、きっちりとした検討が必要である。
・内部評価は2だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

各種子育て支援事業の推進、「子育て環境モデル都市」を実現する 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

・保育料軽減率について平成22年度は2位になったが、トップとの差は何か。

○事務局

・勝山市として保育料軽減率を設定しているが、年度ごとの世帯収入状況に影響される部分がある。他市の就労状況と比較したとき、その部分が後から差となって現れる。

●委員

・他市の状況で達成度合いが変化する目標については、今後考慮すること。
・なぜ保育料軽減率トップを目指すのか。

○事務局

・政策として「子育て環境日本一」を掲げており、その指標として保育料軽減率をあげている。ご指摘いただいたことを踏まえ、今後の目標設定では現実的で効果のあるものを考えたい。

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

障害者自立支援協議会の組織化等による障害者支援体制づくり 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

・障害者自立支援協議会内に啓発活動を担当するプロジェクト会議を立ち上げた結果、現在どのような活動をしているのか。

○事務局

・平成22年度にプロジェクト会議を立ち上げ、障がい者理解の啓発劇を作成し、ビデオに撮った。平成23年度にそのビデオを使って大野市、勝山市で順次啓発活動を実施している。

●委員

・ノーマライゼーションの観点から、より一層の啓発を期待したい。
・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

生活保護世帯の稼働年齢層に対する就労支援事業の強化 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

福祉バスの運行範囲の拡大についての検討 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・「福祉バスの運行範囲拡大」が重点項目であるのに対し、目標が「更新に向けた調査」では、設定が低いのではないか。

○事務局

- ・現行の福祉バスは導入から15年以上経過しており、長距離を走ることができず、高速道路に乗ることもできない。新規購入をしないと運行範囲の拡大ができない状況にあったが、今後の市民のニーズや助成を受けるための調査を目標とした。

●委員

- ・新規に福祉バスを導入することで、高速道路に乗って県外へ行くことも可能になるのか。課題である範囲の拡大について検討が必要。

○事務局

- ・高速道路での運行可能なバスを導入する予定。そのうえで、利用状況などから運行範囲の拡大が出来るかどうかについて現在協議を行っている。

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

国保財政健全化、新しい医療制度への円滑な移行 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

- ・単年度赤字解消のためには税率改定しか方策がないのか。

○事務局

- ・特定健診やがん検診の受診者数を増やすことで、病気にならず医者にかからないことも必要。様々な取組みの中の1つとして税率改定がある。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

メタボリックシンドローム予防のための健診・健康教室を充実 内部評価2 ⇒ 外部評価2 (一)

●委員

- ・達成状況から見ると、目標の設定数値が高すぎたのではないか。

●委員

- ・これほど高い受診率を目標として掲げた理由は何か。
- ・特定検診は特定の病院への委託事業か。

○事務局

- ・集団検診は予防医学協会との契約で健診機関へ委託し、すこやかや各公民館を巡回して実施。

個別健診は平成22年度は勝山市医師会等に委託し、平成23年度からは県医師会との契約になる。市内・県内の医療機関で受診。ただし特定健診の要件を満たした医療機関に限る。

- ・第5次総合計画での24年度目標設定に向けた段階設定をしたことと、国の指針にあわせた設定をしたため、高い目標設定となった。

●委員

- ・国保財政健全化に向けて、市民課と健康長寿課が横断的連携をして事業に取り組む必要がある。
- ・第5次勝山市総合計画第6章に示した横断的連携に基づいて事業を実施してほしい。

○事務局

- ・平成23年度評価の中では、施策レベルでの評価を実施していただけるよう検討する。

●委員

- ・内部評価は2だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

以上